

【様式1】

# 令和5年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業 構想概要

法人名: 国立大学法人香川大学  
大学名: 香川大学

## 「希少糖」研究を核とする地域イノベーションの創出と共創マネジメント強化

香川大学発の独創的な「希少糖（自然界に微量にしか存在しない単糖とその誘導体）研究」をイノベーション創出の軸に据え、産官学共創のマネジメント力強化により社会実装を推進し、地域社会や産業の創生・高度化・活性化を実現する。

## 「希少糖研究」の位置付けと地域イノベーション創出に向けた強化方針

①多様性と卓越性：世界的に卓越する研究水準にあり。希少糖の生産工程の効率化、用途開発や製品実装で世界をリード。健康機能性食品以外の広い産業分野での用途開発研究を加速。

②社会実装・イノベーション：産業分野毎に異なるフェーズに到達。①食品分野→ブランディング・マーケティングでグローバル展開を推進。②農業素材分野→許認可後、社会実装。③医療素材分野→GMP製剤化により、臨床へ移行。

③地域貢献：香川県の経済成長戦略「かがわ希少糖ホワイトバレー」構想で密接な連携を構築。地域産業への波及とグローバル展開による地域還元を加速。（第12回地域産業支援プログラム表彰事業で（イノベーションネットアワード2023）文部科学大臣賞を受賞）

研究環境：高水準の研究基盤環境を保有。産学官の研究連携を強化するための中核施設を整備。

マネジメント：70名超の教授陣の研究を理事をトップとする全学機構で管理。資金循環の加速に向け、外部コンサルタント・シンクタンク・特許事務所等の活用による経営マネジメントの強化

## 大学の特色「希少糖研究」強化による香川地域イノベーション創出活性化モデル

### 本申請の計画

- 国際希少糖研究教育機構の体制整備  
「実証研究開発部門」を新設設置  
～オープンイノベーション創出機能の強化  
「推進支援室」を新設設置  
～コンサルタント・シンクタンク・特許事務所等との連携で機能強化
- オープンイノベーション施設の整備
- ガバナンス強化：マネジメント、産官学連携促進への学内連携、インセンティブ

### 香川大学へのインパクト（研究/事業の進展）

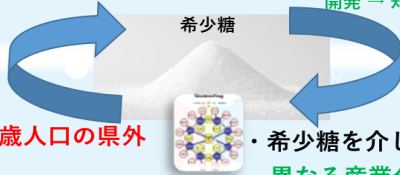
- 研究の卓越性向上  
・食品産業分野ではグローバル展開開始
- 研究成果の地域還元  
・医薬・医療素材展開では、臨床試験の展開に不可欠なGMP工場の竣工
- ・産業支援財団チームとの連携で潜在的希少糖利用場面のあぶり出して新規用途開発開始  
開発→知財化→ライセンスアウト

### 地域の現状・課題

- ・少子高齢化の先進県/18歳人口の県外流出が全国で1番多い
- ・ニッチトップ企業が多い/将来の事業継続に課題
- ・製造業の割合が高く、基礎素材系の工場が立地。食料品関連の企業が県下一円に多数集積
- ・流出した青壮年層を誘導する魅力の創出

### 政策的効果

- ・希少糖を介した地域産業の振興と活性化  
異なる産業分野における研究・事業を持続的に支える独自の自走システムを構築  
県外から地域に当該主要企業の誘致  
ライセンスアウトで地域還元方式を確立
- ・希少糖の研究開発資金の好循環
- ・大学の持つ複数機能で地域に還元  
危機管理学・地域の安全・安心への貢献



将来の地域振興の核となり、若者人口流出を止める魅力ある新たな産業の創出に向け、大学の持つ強み特色である「希少糖研究」の進展段階に応じて、幅広い産業分野での実証・実装を加速